

教育委員会の点検・評価について

○瑞浪市では平成20年度から点検評価を実施し、今年で13年目となります。

○委員の委嘱期間は委嘱の日から当該年度の点検評価に関する審議が終了するまでです。

○令和元年度委員会開催実績は以下のとおりです。

5月24日・・・第1回点検評価委員会開催

5月30日・・・第2回 〃

7月 3日・・・第3回 〃



①点検・評価の導入の目的

現在の教育委員会制度では、首長から独立した合議制の教育委員会が決定する教育行政に関する基本的方針に基づき、教育長及び事務局が、広範かつ具体の教育行政事務を執行しています。

このため、教育委員会が、事前に立てた基本方針に沿って具体的な教育行政を執行しているかどうかを、教育委員会自らが事後にチェックすることが重要です。また、地域住民に対する説明責任を果たし、その活動を充実することが求められています。

平成19年6月に公布された地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律(平成19年法律第97号)の一部改正において、教育委員会の行政の執行状況について、点検・評価を実施することが義務付けられました。

この点検・評価は、教育行政の基本的な方針の策定等と同様に、教育長に委任せず、教育委員会が管理・執行しなければならない事務として位置づけられました。

さらに、評価の結果を議会に提出し、公表しなければならないこととされたことにより、住民の代表である議会において、教育委員会の点検・評価に対する評価がなされるとともに、地域住民への説明責任を果たすことになります。

※「地教行法」＝ 地方教育行政の組織及び運営に関する法律

○地方教育行政の組織及び運営に関する法律(抜粋)

(教育に関する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価等)

第二十六条教育委員会は、毎年、その権限に属する事務(前条第一項の規定により教育長に委任された事務その他教育長の権限に属する事務(同条第四項の規定により事務局職員等に委任された事務を含む。))の管理及び執行の状況について点検及び評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともに、公表しなければならない。

2 教育委員会は、前項の点検及び評価を行うに当たっては、教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図るものとする。

②点検・評価実施にあたってのポイント

- 平成19年の地教行法の改正では、効果的な教育行政の推進に資するとともに、住民への説明責任を果たしていくため、教育委員会が、①毎年、②教育長及び事務局の事務執行を含む教育委員会の事務の管理執行の状況について、③教育に関し学識経験を有する者の知見の活用を図りつつ、点検評価を行うこととし、④その結果に関する報告書を作成し、議会に提出するとともに、公表しなければならないことが新たに規定されました。
- どのような点検・評価を行うか、また報告書の様式、議会への報告の方法などについては、国が基準を定めるのではなく、各教育委員会が実情を踏まえて決定することとなりました。
- 「教育に関し学識経験を有する者の知見の活用」については、点検・評価の客観性を確保するためのものです。活用の仕方については、評価の方法や結果について教育に関し学識経験を有する者の意見を聴取する機会を設けることなどが考えられます。

③実施の流れ

教育委員会の会議の開催等の状況、教育委員会の定める計画の進捗状況、予算事業の実行状況や学校の点検・評価の結果などを点検・評価し、その結果を報告書としてとりまとめ、「点検評価委員会」において客観的で公正な意見を伺った上で、市議会に提出し、教育委員会ホームページで公表します。



○瑞浪市教育委員会点検評価実施要領(抜粋)

(点検評価の実施及び体制)

第2条 教育委員会は、前年度の教育委員会の取組について、点検評価を行う。

2 教育委員会は、前項の点検評価を適正なものとするため、外部の学識経験者等によって構成する評価委員会の意見を聴かなければならない。

④瑞浪市教育委員会点検評価委員会

「瑞浪市教育委員会点検評価委員会規則」、「瑞浪市教育委員会点検評価実施要領」に基づき、実施します。

整理No. 1		事業目標と評価		担当課	社会教育課
教育プラン 基本目標	5	子どもの成長支援のための 幼児園・学校、家庭、地域の 連携強化	施策	2	連携による地域の 教育力の向上
主な取組	1	事業名	瑞浪市主張大会開催事業		担当課 評価 B
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> 事業期間 昭和54年度～ 年度 青少年の健全育成と、大人による「子ども・若者理解」の促進を目的として実施します。市内の各小・中・高等学校の代表（各校1名）、及び一般応募者が発表し、中学生については、少年の主張岐阜県大会の瑞浪市予選会を兼ねています。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 より多くの市民の方に来場を促すことが歴年の課題となっており、青少年育成推進員を介し、青少年育成市民会議及び町民会議の構成員に対し来場を呼びかけました。 また、市内の小、中、高校に大会の告知ポスターの設置、全児童・生徒へのチラシ配布のほか、ホームページでの開催告知、市の広報に折り込みチラシを挿入しました。新たに中京学院大学にもポスター等の設置を依頼し、発表者の募集を実施しました。					
【令和元年度事業の実績】 広く周知に努めた結果、一般の部の参加者として2名（20歳前後の大学生及び社会人）の参加がありました。また、大会の運営には青少年育成推進員のほか、4名の高校生ボランティアが司会や採点表の運搬などを行い、大会の基幹を担っていました。後日、発表内容を収録した記念冊子及び当日の様子を収録したDVDを作成し、参加者等に配布しました。 来場者 479名					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○積極的な募集の結果、一般の部に2名の青年が参加しました。 ▲引き続き、より多くの市民に興味をひき、来場を促す工夫が必要です。					
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率 小数点第2位を切り上げた数値
	158,000 円		117,870 円		74.6 %

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価
----------------------------	-----------

教育委員会評価	教育委員会定例会での 評価を記載します。
---------	-------------------------

整理No. 2		事業目標と評価		担当課		社会教育課	
教育プラン 基本目標	5	子どもの成長支援のための 幼児園・学校、家庭、地域の 連携強化	施策	2	連携による地域の 教育力の向上		
主な取組	4	事業名	青少年育成推進事業			担当課 評価	A
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 昭和43年度～ 年度 青少年の健全育成に資する活動の推進を目的とし、当該活動を行う団体及び個人等に対する活動の援助並びに交付金の交付等を実施します。							
【前年度の評価を踏まえた取組】 前年度の組織再編や事業の見直しの効果を検証しながら活動を支援しました。							
【令和元年度事業の実績】 瑞浪市青少年育成市民会議は、「瑞浪市主張大会」を市と共催したほか、世代間交流会「高校生と語る会」、瑞浪駅周辺等の清掃活動「無ガム中大作戦」、夏祭りや各公民館文化祭での啓発活動、東濃西部少年センターと連携した夜間巡回指導、モデル団体に指定した土岐地区町民会議の活動支援等を行いました。瑞浪市子ども会連合会は、安全に活動するための野外研修会を計画していましたが、新型コロナウイルスによる感染症流行の世情を受け、やむなく中止しました。JC 青年の船「とうかい号」乗船者は、船上研修で社会貢献の精神を学びました。							
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題 ○市民会議の活動では、参加した地域住民と青少年の相互理解が深まり、連携が強化されました。また、本年は「青少年健全育成県民会議」が瑞浪市で開催され、市内外から600名近い参加者が集まりました。瑞浪市青少年育成市民会議の活動発表や、大会史上初となる高校生による司会の実現など、主体的に大会を盛り上げました。 ○JC青年の船「とうかい号」の乗船者が、一般参加者として「瑞浪市主張大会」で研修成果を市民に発表しました。							
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率 小数点第2位を切り上げた数値		
	2,220,000 円		2,000,931 円		90.2 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価
----------------------------	-----------

教育委員会評価	教育委員会定例会での 評価を記載します。
---------	-------------------------

様式第1号

瑞浪市教育委員会

整理No. 3	事業目標と評価	担当課	社会教育課
---------	---------	-----	-------

教育プラン 基本目標	5	子どもの成長支援のための 幼稚園・学校、家庭、地域の 連携強化		施策	2	連携による地域の 教育力の向上	
主な取組	5	事業名	成人式開催経費			担当課 評価	A
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 昭和29年度～ 年度 瑞浪市の成人式は、長年引き継がれてきた「成人の火の伝達」等の伝統を継承しながら、成人の自覚と将来への激励を目的とし、新成人実行委員会を中心に地域の方々の協力による手づくりの成人式を開催します。							
【前年度の評価を踏まえた取組】 近年の社会人や学生の多忙化を考慮し、実行委員会の開催回数減や会議時間の短縮等を試みました。その上で、伝統ある瑞浪市成人式の趣旨を実現することに努めました。							
【令和元年度事業の実績】 成人式実行委員会には、22名の正式メンバーと3名のサポートメンバー（市外在住者等）が参集しました。実行委員は、互いの自主性や創意を尊重しながらアイデアを出し合い、「観客一体型」の式典を自ら考案し、実現しました。こうして迎えた成人式は、参列した多くの新成人に、共感や笑顔、感動を呼びました。 半年の長きにおよび共に活動した実行委員の間には深い絆が生まれ、式典後の集いでは、「楽しかった」「やってよかった」といった声が聞こえてきました。 成人対象者404名、内出席者314名 出席率77.7%							
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題 ○瑞浪市の伝統に則り、新成人による手づくりの成人式を生み出すことができました。 ▲成人式実行委員の成り手を確保することが困難になりつつあることから、その魅力を発信し、積極的な募集をする必要があります。 ▲限られた予算・人的資源の中で、伝統ある成人式を継続していくために、見直しや改善を行っていく必要があります。							
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率 小数点第2位を切り上げた数値		
	1,900,000 円		1,845,651 円		97.2 %		

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価

教育委員会評価	教育委員会定例会での 評価を記載します。
---------	-------------------------

教育プラン 基本目標	2	ともに学び、成長し、高めあえる 社会教育の推進	施策	1	多様な世代に対応し た生涯学習の内容の 充実
主な取組	1	事業名	中央公民館講座等開催経費		担当課 評価 A
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> 事業期間 昭和29年度～ 年度 市民のライフスタイルや生活技術の向上、多様な学習意欲の向上に適した講座・教室等を開催します。また、高齢者学級としての寿大学の運営や、家庭教育の充実を目的とする母親学級等を開催します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 学習効果を高めるため講座後に発表や展示する場を増やしました。特に、楽器演奏の講座においては、文化祭で発表する機会を設けました。					
【令和元年度事業の実績】 短期講座・教室(6講座:受講生数80人)、長期講座(3講座:受講生数29人) 登録自主グループ 22団体、延べ会員数224人 高齢者学級 中部寿大学(学生数118人) 婦人学級 ひまわり婦人学級(学生数22人)、常盤婦人学級(学生数22人) 家庭教育学級 明日の親学級(2回:受講生数15人)、三園母親学級(学生数24人)					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○気軽に参加しやすい短期講座を企画し、幅広い世代が多様な学習を行うことのできる機会を提供しました。 ○長期講座を企画し、講座終了後も自主グループ化により学習が継続されるよう促しました。 ▲講座終了後も学習が継続されていくような講座の開催や働きかけが必要です。					
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率 小数点第2位を切り上げた数値
	414,000 円		336,408 円		81.3 %

様式第 1 号

整理No. 5		事業目標と評価		担当課		社会教育課	
教育プラン	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興	施策	2	市民の文化芸術活動の活性化		

基本目標	5	子どもの成長支援のための幼稚園・学校、家庭、地域の連携強化		2	連携による地域の教育力の向上	
主な取組	①	事業名	中央公民館文化祭開催経費	担当課 評価	A	
	①					
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間 昭和29年度～ 年度 公民館講座等の参加者や登録自主グループの生涯学習成果を発表する機会を提供し、また、市内の文化芸術団体の活性化を図るため、11月の土曜日、日曜日の2日間、中央公民館文化祭を開催します。						
【前年度の評価を踏まえた取組】 瑞浪・土岐・明世地区のまちづくり推進協議会によるパネル展示、瑞浪市消防団音楽分団及び瑞浪北中学校吹奏楽部によるオープニング演奏、瑞浪高校及び中京高校による発表により地域や学校との連携を深めました。						
【令和元年度事業の実績】 27 団体による芸能発表、17 団体による作品展示のほか、市民図書館による「読み聞かせ」、市子ども会連合会による「子ども広場」、有志団体による食品バザーを行いました。特に食品バザーは「青空マルシェ」と名前を新たにし、バザー数も増え、賑やかに開催できました。また、瑞浪・土岐・明世地区の幼稚園及び保育園の園児の作品や小中学校の児童生徒の作品、まちづくり推進協議会の紹介パネルを展示しました。令和元年度は、文化祭の運営に参加者により行い、参加意識を高めました。 全体参加者数 987 人（前年度 705 人）、入場者数 2,749 人（前年度 2,238 人）						
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題 ○幼児から高齢者まで幅広い世代の方に参加していただくことで、世代間の文化交流をはかることができました。 ○地域や学校との連携を深めることができました。 ▲芸能発表の観客が少ないことが課題です。						
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率 小数点第2位を切り上げた数値	
	133,000 円		97,033 円		73.0 %	

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応			点検評価委員会評価	

教育委員会評価	教育委員会定例会での評価を記載します。
---------	---------------------

様式第 1 号		瑞浪市教育委員会		
整理No. 6	事業目標と評価			担当課 社会教育課
教育プラン 基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興	施策	2 市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実

主な取組	5	事業名	美術展開催経費	担当課 評価	A
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> 事業期間 昭和29年度～ 年度 第66回瑞浪市美術展(一般の部)を公募展として開催します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 少年の部の入選者を一般の部でも展示することを検討しましたが、現行どおりとして開催しました。					
【令和元年度事業の実績】 部門を日本画、洋画、書、デザイン・イラストレーション、陶芸、手工芸(彫塑含)、写真の7部門とし、第66回瑞浪市美術展(一般の部)を、令和元年10月24日(木)～10月27日(日)の4日間で開催しました。出品数209点(うち賛助・無鑑査等37点)、入賞53点、展示作品数201点。入場者数886人。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○賛助、無鑑査等の出品により、市民が優れた芸術に触れる機会の提供となりました。 ○高校生の出品数が、昨年の9点から20点に増えました。 ▲出品数は前年度と比較し 13点(6%)の減となり、減少率(前年度 9%)は、下がったものの、どの部門も創作活動者の絶対的人口が減少している中で、いかに市内在住者に出品してもらうかが課題です。出品数の増加に繋がるよう、広報します。					
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率 小数点第2位を切り上げた数値
	1,675,000 円		1,427,346 円		85.3 %

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	

教育委員会評価	教育委員会定例会での評価を記載します。
---------	---------------------

様式第1号		瑞浪市教育委員会			
整理No. 7	事業目標と評価			担当課	社会教育課
教育プラン 基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興	施策	2	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実

主な取組	5	事業名	中央公民館自主事業	担当課 評価	A
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> 事業期間 昭和59年度～ 年度 文化ホールでは、音楽や文化公演事業を企画実施し、市民に芸術文化に触れる機会を提供します。 また、プロ、アマを問わず、地元で活躍している方や所縁のある方などを広く市民に紹介して行く事業として、ホワイエふれあいコンサートを随時開催します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 市民ニーズにあった公演の開催に努めました。					
【令和元年度事業の実績】 ○公演事業(2公演) 8月31日 研ナオコ&野口五郎ジョイントコンサート (768人)[収容可能数 771人] 2月 8日 夏井いつき句会ライブ (625人)[収容可能数 786人] ○ホワイエふれあいコンサート(2公演) 4月28日 さわやかコンサート(コーラスジュピター・釜戸女声コーラス) 194人 6月23日 朗読の昼下がり(朗読教室7団体) 97人					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○自主事業は、2公演とも好評で、市民のニーズにあった公演を開催できました。 ○ホワイエふれあいコンサートは、観客との距離が近く、温かな雰囲気コンサートとなり毎回好評を得ることができました。 ▲新型コロナウイルスの影響で3月のホワイエふれあいコンサートが中止となりましたが、今後も起こりうる不測の事態への対応を検討しておく必要があります。					
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率 小数点第2位を切り上げた数値
	10,026,000 円		9,907,790 円		98.9 %

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価	

教育委員会評価	教育委員会定例会での評価を記載します。
---------	---------------------

様式第1号		瑞浪市教育委員会			
整理No. 8	事業目標と評価			担当課	社会教育課
教育プラン 基本目標	4	郷土愛を育む文化・芸術の振興	施策	2	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実

主な取組	5	事業名	中央公民館市民参加型事業	担当課 評価	A
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> 事業期間 平成18年度～ 令和元年度 市民が自ら参加し、芸術創造の場に触れることのできる事業を企画し開催します。 10年以上実施してきたこれまでのノウハウと参加者や関係者とのつながり等を生かしながら、市制60周年で公演した「桜堂物語」を再上演します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 市制65周年を記念し盛大に開催、スタートから20回をむかえ、令和元年度を最終公演とし、今後は自主事業の中で必要に応じて対応していきます。					
【令和元年度事業の実績】 1月26日(日)に『桜堂ものがたり2020』を開催。(753人)〔収容可能数778人〕 参加者は、公募ソリスト、キャスト、合唱団、交響楽団合わせて130人、演出家・指導者などです。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○参加した合唱、演劇、演奏、演出、運営スタッフ等の方々が力を集結させ作り上げた舞台となり、完成度や市民の満足度は非常に高いものとなりました。					
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率 小数点第2位を切り上げた数値
	5,000,000 円		4,996,030 円		100 %

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価

教育委員会評価	教育委員会定例会での 評価を記載します。
---------	-------------------------

様式第1号		瑞浪市教育委員会			
整理No.1		事業目標と評価		担当課	学校給食センター
教育プラン 基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就 学前教育・学校教育の促進	施策	5	健やかな体づくりと食 育の促進

主な取組	③	事業名	学校給食配送委託事業	担当課 評価	A
【令和元年度事業の概要】<u>重点目標等</u> 事業期間 平成 17 年度～ 学校給食を市内の小・中学校に限られた時間内に確実・安全に配送するため、配送事業を専門業者に委託します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 特になし。					
【令和元年度事業の実績】 契約先：東海西濃運輸株式会社 岐阜東濃支店 岐阜県土岐市下石町西山 304 番地の 912 契約期間：平成 28 年 4 月 1 日から平成 33 年 3 月 31 日まで 配送施設数：小学校 7 校、中学校 3 校 1 学期 66 日、2 学期 82 日、3 学期 35 日 計 183 日 新型コロナウイルスの流行により、3 月(17 日間)は給食が中止となりました。					
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題 ○市内の小・中学校への給食の配送を確実に実施することができました。 ▲配送途中に食器が割れてしまったことが 2 回ありました。					
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率 小数点第 2 位を切り上げた数値
	20,928,000 円		20,928,000 円		100 %

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価

教育委員会評価	教育委員会定例会での 評価を記載します。
---------	-------------------------

様式第 1 号		瑞浪市教育委員会			
整理 No.2		事業目標と評価		担当課	学校給食センター
教育プラン 基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就 学前教育・学校教育の促進	施策	5	健やかな体づくりと食 育の促進

主な取組	②	事業名	学校給食調理等委託事業	担当課 評価	A
【令和元年度事業の概要】<u>重点目標等</u> 事業期間 平成 27 年度～ 小・中学校10校の学校給食約3,000食の調理・食器洗浄業務等を民間業者に委託し、安全・安心で美味しい給食を提供します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 特になし。					
【令和元年度事業の実績】 契約先：ハーベストネクスト株式会社 神奈川県横浜市保土ヶ谷区岩間町二丁目120番地 契約期間：平成30年4月1日から平成33年3月31日まで 給食実施数：小学校7校、中学校3校 1学期 66 日、2学期 82 日、3学期 35 日 計 183 日 498,751食の給食を提供しました。 新型コロナウイルスの流行により、3月(17日間)は給食が中止となりました。					
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題 ○平成 30 年度から受託業者が変更となりましたが、安全・安心で美味しい給食を時間までに提供できました。					
決算の状況	予算額		決算見込額		執行率 小数点第 2 位を切り上げた数値
	63,220,000 円		63,220,000 円		100 %

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価

教育委員会評価	教育委員会定例会での評価を記載します。
---------	---------------------

様式第 1 号			瑞浪市教育委員会		
整理No.3		事業目標と評価		担当課	学校給食センター
教育プラン 基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就 学前教育・学校教育の促進	施策	5	健やかな体づくりと食 育の促進
主な取組	③	事業名	学校給食施設等改修事業		担当課 評価 A

【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> 事業期間 平成 30 年度～ 学校給食センターが現在の場所に改築されてから18年が経過し、建物や施設設備等が老朽化してきました。施設設備全体の改修を効率的に行うため、現状を調査し、施設設備の中長期改修計画を策定します。
【前年度の評価を踏まえた取組】 基本計画を策定するのに当たり、頻繁に修繕をする機器を把握し、センターとしての要望を計画に反映させるようにしました。
【令和元年度事業の実績】 契約先：株式会社日建設計 名古屋オフィス 愛知県名古屋市中区栄四丁目15番32号 契約期間：令和元年7月23日から令和2年2月28日まで 学校給食センター改修に伴う現状調査及び基本計画策定を行いました。
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ▲施設の長寿命化を図るため、中長期的な視野に立って改修を行う必要があります。

決算の状況	予算額	決算見込額	執行率 小数点第2位を切り上げた数値
	4,730,000 円	4,730,000 円	100 %

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価
----------------------------	-----------

教育委員会評価	教育委員会定例会での評価を記載します。
---------	---------------------

様式第 1 号			瑞浪市教育委員会					
整理No.4		事業目標と評価		担当課		学校給食センター		
教育プラン 基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる 就学前教育・学校教育の促進		施策	5	健やかな体づくりと食育 の促進		
主な取組	③ ④	事業名	ふれあい給食事業				担当課 評価	A
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> 事業期間 平成 24 年度～								

食育の一環として、地元農産物、地元農家等への理解を深めるため、地元野菜の生産者等で給食時間に市内の小学校を訪問し、話をしながら一緒に給食時間を過ごします。

当日は地元産の野菜や畜産物を献立に取り入れ、地産地消を推奨します。

生産者が子どもたちに野菜作りの苦労話などをする事で、地元産の野菜等に興味を抱き好き嫌いなく食するようにします。

【前年度の評価を踏まえた取組】

インフルエンザの流行期を避け、冬野菜の収穫期である12月の上旬に実施します。

【令和元年度事業の実績】

12月13日に地元生産者が日吉小学校を訪問し、給食時間に各クラス2名～3名の農家の方と児童が交流した。

当日の献立：瑞浪米ごはん、瑞浪ポーノポークの生姜焼き、五目大豆、日吉みそ汁、りんご、牛乳

当日使用した瑞浪産食材：米、瑞浪ポーノポーク、日吉みそ

【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題

○開催時期をずらしたことで、当日は欠席者もなく、多くの瑞浪市産の食材を提供できました。子どもたちが生産者から野菜作りの苦労話や豚の育て方を聞くことで食に対する感謝の気持ちを育むことができました。

▲今後も「JAとうと」との連携を深め、生産者を確保し、多くの農家に参加していただけるよう働きかけます。

決算の状況	予算額	決算見込額	執行率 小数点第2位を切り上げた数値
	0 円	0 円	— %

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応	点検評価委員会評価

教育委員会評価	教育委員会定例会での評価を記載します。
---------	---------------------

様式第1号

瑞浪市教育委員会

整理No. 1		事業目標と評価		担当課	学校教育課
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進	施策	2	確かな学力の育成
主な取組	②	事業名	ALT 活動関係経費		担当課評価
					B

【令和元年度事業の概要】 重点目標等 事業期間 平成元年度 ～ 継続

- ・外国人英語指導助手(JET プログラム 1 名・業者委託 2 名)が小中を訪問し、英語教育、外国語活動、英語活動、国際理解教育を進めます。
- ・小学校における外国語活動の教科化に向けて、担任の授業力を高めます。

【前年度の評価を踏まえた取組】

- ・英語指導の研修会を実施し、指導力の向上を図りました。

【令和元年度事業の実績】

- ・小中学校への計画的な訪問指導を実施しました。各小学校 5・6 年生には、年間 50 時間の英語授業の内、平均 36 時間に訪問し、日本人教師とのチームティーチングを行うことができました。各中学校には年間 140 時間中、平均 46 時間(学校規模により訪問日数を決定)訪問できました。延べ訪問日数は 153 日(臨時休業のため 3 月は勤務実績なし)。
- ・「Let's try1,2」「We Can1,2」を活用し、ALT による良質のインプットを与えるなど、授業の充実を図ることができました。

【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題

- 小学校では、児童が外国語に慣れ親しむとともに、学んだ英語を実際のコミュニケーション場面で活用するなど、言語活動を充実させることにつながりました。チームティーチングを行う際には、日本人教師(担任等)が中心となり授業を進めるなど、ALT との効果的な授業づくりにつながりました。
- 小学校では、7 校中 6 校で積極的に ALT と日本人教師が対話を通したモデルを示したり、ALT による児童へのフィードバックをしたりするなど、ALT の活用が効果的になりました。1 校については、英語主任会を通して、ALT の活用方法について研修できるようにしました。
- 中学校では、生徒が自己の考え・思いを交流する機会が増えました。また、一層相手意識をもってコミュニケーションを図る態度が養われてきています。ネイティブスピーカーによる言い換え、平易な表現の紹介を通して、タイムリーなインプットがなされ、言語習得に有効に働いています。
- 市内中学校第 3 学年に在籍する生徒の内、32%が英語能力に関する外部試験を受験しており、その内の 60%が CEFRA1(英語検定 3 級程度)レベル相当以上を取得しているなど、生徒の英語力の向上につながっています。
- ▲新しく教科書が採択され、教材研修を進めるとともに、効果的に指導ができるよう、一層教職員の指導力を高める必要があります。
- ▲小中学校ともに、時間割等の工夫により、ALT の授業への参加回数を増やし、言語活動を通した英語力の向上を図っていく必要があります。

決算の状況	予算額	決算見込額	執行率
	15, 601, 000 円	14, 158, 959 円	90.8 %

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応

点検評価委員会評価

教育委員会評価

様式第 1 号

瑞浪市教育委員会

整理No. 2		事業目標と評価			担当課	学校教育課
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進	施策	7	幼稚園・学校の職員の資質向上	
主な取組	②	事業名	教育研修経費			担当課評価 B

【令和元年度事業の概要】 重点目標等 事業期間 ―― 年度 ～ 継続

・教職員の資質向上のための研修会を実施します。 ・小中学校の授業研究会や研修会に外部専門講師を招聘します。			
【前年度の評価を踏まえた取組】 ・ニーズに応じて、特別支援教育・外国語指導等に係る研修を充実させ、教職員の資質向上を図りました。			
【令和元年度事業の実績】 ・夏季研修会については、3日間延べ313名が受講しました。 ・開設した講座は、英語教育、特別支援教育、幼児教育、作陶教室、瑞浪市歴史探訪、実践論文等、合計12講座を実施しました。 ・各学校の授業研究会や研修会に教育事務所主事以外の外部講師を招聘し、活動や授業の充実に努めました。各小中学校合計すると年間で延べ60名の講師を招聘しました。			
【令和元年度事業の成果と課題】○…成果 ▲…課題 ○今日的課題である特別支援教育、小学校における英語教育等に係る研修の実施により、教職員の資質向上が図られています。 ○ニーズの高い特別支援教育については2つの講座を開設したことで、普段の指導においてもっていた疑問や悩みを解決することができ、多様な特性の児童生徒への指導に役立つ学びができました。 ○他市から赴任してきた教職員に対して、作陶体験や瑞浪市の歴史に触れる内容の研修を開設したことで、瑞浪市のよさを知り、学校での指導に役立てることができました。 ▲現在教職員に必要感が高いタブレット型端末の有効活用、特別支援教育について引き続き研修を充実させ、学校での指導に活かせる研修を実施していく必要があります。 ▲経験年数の浅い教職員を対象とした研修を充実させ、指導力の向上を図る必要があります。			
決算の状況	予算額	決算見込額	執行率
	337,000 円	262,659 円	78.0 %

【点検評価委員からの意見と対応】＊…意見 →…対応		点検評価委員会評価	

教育委員会評価	
---------	--

様式第 1 号		瑞浪市教育委員会					
整理No. 3		事業目標と評価			担当課	学校教育課	
教育プラン 基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就 学前教育・学校教育の推進		施策	7	幼稚園・学校の職員 の資質向上	
主な取組	②	事業名	幼稚園・小学校・中学校課題指定園・ 校経費			担当課 評価	A
【令和元年度事業の概要】重点目標等 事業期間(幼 H24)(小中 S39)年度～継続							

《幼児園》 ・2年サイクルで研究園を指定し、教育活動を支援します。指定園は課題を策定・研究し、2年目に研究発表会を実施します。1年目は予算措置はありません。 《小学校・中学校》 ・3年サイクルで研究校を指定し、教育活動を支援します。指定校は課題を策定・研究し、3年目に研究発表会を実施します。1, 2年目は予算措置はありません。			
【前年度の評価を踏まえた取組】 ・園や学校の課題を踏まえた研究を推進しました。			
【令和元年度事業の実績】 《事前指導》 ・教育長訪問や校内研究授業等で、研究推進や教職員の指導力向上について指導・助言を行いました。 《発表会》 ・10月25日 土岐小学校…4学級公開授業、市内外教職員等参加者約(140名) ・10月18日 瑞浪中学校…18学級公開授業、市内外教職員等参加者数約(120名)			
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○教育長訪問等の際に、研究主題や研究内容に沿って指導・助言をすることで、研究推進並びに教職員の指導力向上につなげることができました。 ○土岐小学校の発表会では、児童の「やってみたい」という意欲を喚起し、「わかる」「できる」実感へ結ぶ指導を児童の姿で示すことができました。 ○瑞浪中学校の発表会では、学習内容のつながりを意識した実践を全教科・全学級の授業公開で公にすることができました。 ▲学習指導要領の改訂並びに全面実施を踏まえ、評価等も含め市内の各園・学校の取組に活かせる研究発表会を実施していく必要がある。			
決算の状況	予算額		執行率
	643, 000 円		96. 4 %
決算見込額		619, 463 円	

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応		点検評価委員会評価	

教育委員会評価	
---------	--

様式第 1 号		瑞浪市教育委員会					
整理No. 4		事業目標と評価			担当課	学校教育課	
教育プラン 基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就 学前教育・学校教育の推進		施策	3	特別支援教育の充実	
主な取組	①	事業名	児童生徒学業支援員派遣事業			担当課 評価	B
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> 事業期間平成 14 年度～ 継続							
・小中学校において、学級担任や教科担任の補助として、特別な支援を必要とする児童生徒（発達障がいや学習障がい等のある児童生徒、日本語の理解が難しい外国籍児童生徒等）へ個別支援を行う人員を配置します。							

・学校図書館の整備及び児童生徒への読書指導等の支援を行う人員を配置します。

【前年度の評価を踏まえた取組】
・各学校に在籍する児童生徒の実態、学校のニーズに応じて学業支援員の配置をしました。

【令和元年度事業の実績】
・小学校 7 校へ 18 名、中学校 3 校へ 7 名、図書支援員として 2 名、合計 27 名を派遣しました。
・各校において、一人一人の特性や実態に応じて、授業の学習支援や学校生活全般の生活支援を行いました。
・図書支援員は、購入した新刊図書の配架や掲示物の作成、委員会活動のサポートを行い、児童生徒利用しやすい図書室環境整備に努めました。

【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題
○各学校に在籍する児童生徒の実態、学校のニーズに応じて学業支援員を配置し、27 名派遣しました。各校においては、時間割等を工夫し、個々の特性に合わせて支援を受けられるようにしました。
○学業支援員の派遣により、児童生徒の特性や困り感に寄り添い、適切な支援が可能となり、安定した心身の状態、生活につなげることができました。
○図書支援員の派遣により、児童生徒が利用しやすい配架の工夫など図書館整備が充実したり、教科等の学習で効果的に活用できる学校図書館の情報センター機能の拡充が図られたりするなどの成果がありました。
○東濃地区学校図書館教育賞において、釜戸小学校が総合優秀賞、瑞浪小学校が優秀賞、瑞浪南中学校が努力賞を受賞しました。図書館の充実に、図書支援員の働きが効果的でした。
▲多様な特性の児童生徒が、各校において増加する現状あるため、支援員増員は急務の課題です。

決算の状況	予算額	決算見込額	執行率
	32, 019, 000 円	29, 587, 050 円	92. 5 %

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応		点検評価委員会評価	

教育委員会評価	
---------	--

様式第 1 号		瑞浪市教育委員会					
整理No. 5		事業目標と評価			担当課	学校教育課	
教育プラン 基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就 学前教育・学校教育の推進	施策	7	幼稚園・学校の教職 員の資質向上		
主な取組	①	事業名	キャリア教育推進事業			担当課 評価	A
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> 事業期間 平成 18 年度～ 継続							
・市内中学校2年生の職場体験学習の充実に向けて支援します。（推進懇談会の実施・賠償保険料の支払い）							
・生徒が将来のことや生活の仕方を深く考えることができるように、事前及び事後の指導が充実するよう支援します。							

【前年度の評価を踏まえた取組】 ・教科学習等、他の指導内容と関連させながら指導を進めました。			
【令和元年度事業の実績】 ・市内中学校3校の2年生293名が、延べ146事業所で職場体験学習を行い、望ましい勤労観・職業観の育成を図ることができました。 ・職場体験学習が円滑に実施できるようキャリア教育推進懇談会を年2回(7月、12月)実施し、関係団体の会長等との懇談を充実させ、助言を得るとともに、実施に際しての協力を得ることができました。 ・事前や事後の指導において、関係団体の方からの話を聞く機会をもち、より深く将来のことや生き方について考えることができました。			
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○市内中学校2年生全員が事故なく職場体験を行い、望ましい勤労観・職業観の育成を図ることができました。 ○学校の取組に協力していただける事業所が多く、1事業所に複数の生徒が体験する際も、仕事に責任をもたせていただくことができ、生徒の主体的な体験につながりました。 ▲キャリア教育推進懇談会については、地域ぐるみで瑞浪の子供を育てるという視点から共通理解する場として重要であることを踏まえ、継続して開催していく必要があります。			
決算の状況	予算額	決算見込額	執行率
	150,000 円	141,040 円	94.1 %

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応		点検評価委員会評価	
		教育委員会評価	

様式第 1 号		瑞浪市教育委員会				
整理No. 6		事業目標と評価		担当課	学校教育課	
教育プラン 基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就 学前教育・学校教育の推進	施策	4	豊かな心の育成	
主な取組	③	事業名	教育支援センター運営経費		担当課 評価	B
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> 事業期間 平成 24 年度～ 継続						
・不登校児童生徒の学校復帰を目指して、指導員 2 名(嘱託職員)により適応指導を行います。						
・教育支援センター室長による学校訪問や保護者面談をしながら、教育支援センターへの通級を勧める活動を行います。また、実態に応じて、スクールカウンセラーやスクール相談員、スクールソーシャルワーカー、瑞浪市巡回臨床心理士と連携した支援も進めていきます。						
・通級する児童生徒に対しては、「援助シート」を作成し、指導員が実態に応じて学習や生活の個別指導を行い、対人関係を学んだり、学習の遅れを取り戻したりしながら、学校復帰を						

目指します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 ・学校と連携してケース会議を充実させ、一人一人の実態に即して学校復帰を目指しました。					
【令和元年度事業の実績】 ・不登校生徒に対し、学校・他の教育機関、関係機関等と連携して、該当児童生徒や保護者へ働きかけ、19名の小中学生が通級できるようになりました。その内11名が学校復帰することができました。 ・室長が学校訪問をしてケース会議に参加し、情報を学校と共有して対応することで、通級への意欲を見せたり、見学したりした児童生徒が13名いました。 ・教育支援センターこぶし教室では、学校と共に「援助シート」を作成し、支援目標、支援方法等を明確にし、計画的・継続的に支援を進め、自立していくための資質能力を高めました。 ・教育相談活動については、令和元年度末までに、電話や来室・訪問での相談を520件行いました。					
【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題 ○学校と適応指導教室が連携を密にし、情報交流・共有を大切にすることで、不登校傾向の児童生徒を体験入級につなげることができました。また、通級中に心の安定が図られ、登校につながる児童生徒もありました。 ○学校復帰を目指し、「援助シート」を作成して、その子に応じた計画的・継続的に指導ができました。 ▲体調不良の継続、連続した欠席等、心配される様相が見られた際に、早期に教育支援センターと連携をとり、長期化させないように初期対応に十分配慮する必要があります。 ▲カウンセリングや適切な見立てができる臨床心理士の定期的な派遣を行い、より個に応じた適切な支援を行っていく必要があります。					
決算の状況	予算額 7,450,000 円		決算見込額 7,149,674 円		執行率 96.0 %
【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応			点検評価委員会評価		
			教育委員会評価		

様式第1号

瑞浪市教育委員会

整理No. 7		事業目標と評価		担当課	学校教育課
教育プラン基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就学前教育・学校教育の推進	施策	7	幼稚園・学校の教職員の資質向上
主な取組	④	事業名	教育研究所運営経費		担当課評価 A
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> <u>事業期間</u> 平成24年度～ <u>継続</u> ・各学校の代表である嘱託所員とともに、算数・数学の授業研究を行います。成果を「教育みずなみ」に掲載するとともに、成果報告会をもつことで市内教職員に広めます。 ・各教職員の研究成果をまとめた論文を審査・表彰し、「教育実践論文集」に収録する等、教員の研究活動を奨励・援助し、教育レベルの向上を図ります。 ・教育研究所機関誌「教育みずなみ」(隔月刊)を発行します。					
【前年度の評価を踏まえた取組】 ・「教育実践論文集」や「教育みずなみ」を配付して、具体的な実践等を紹介することで、教職員の資質向上を図りました。					

【令和元年度事業の実績】

- ・教育実践論文を募集、審査、表彰し、入賞作品を「教育実践論文集」に収録しました。49人の応募がありました。
- ・これまでの授業分析を通した研修から、嘱託所員とともに、算数・数学の授業における有効な手立てや指導の方途について公開授業を通して広めたり、「教育みずなみ」に掲載したりして広める取組に大きく変えました。研修の成果について「授業ハンドブック」にまとめ市内の教職員に配付しました。年度末のアンケートでは、算数・数学に係る提案に対して、83%が関心があったと回答しており、教職員の学びとなる取組となりました。

【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題

○実践論文の応募が、合計49点ありました。応募率は25%でした。実践論文の作成により、教職員の資質向上に大いにつながっています。

○優秀論文を「教育実践論文集」に掲載し、市内教員に配付しました。即効性のある指導の手立てや指導の考え方などを具体的な実践を基に広めることにつながりました。

○「教育みずなみ」の各コーナーにおいて、幼小中の特色ある取組、学力向上に係る取組等について、具体的な実践を紹介することができました。

▲市内の教職員のニーズ、今日的な教育課題等に即して、教職員の資質向上に資する内容を適宜組み込みながら研究所活動を進める必要があります。

決算の状況	予算額	決算見込額	執行率
	596, 000 円	482, 596 円	81. 0 %

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応		点検評価委員会評価	
		教育委員会評価	

様式第 1 号		瑞浪市教育委員会				
整理No. 8		事業目標と評価		担当課	学校教育課	
教育プラン 基本目標	1	たくましく生きる基礎を育てる就 学前教育・学校教育の推進	施策	8	学校環境等の整備・ 充実	
主な取組	③	事業名	ICT 教育推進事業		担当課 評価	B
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> 事業期間 平成 30 年度～ 継続						
・瑞浪小と全中学校にタブレット型 PC を導入します。						
・ICT 機器を活用するための教員研修を行います。						
・ICT 機器を活用した授業改善を行います。						
・ICT 支援員を配置します。						
・デジタル教科書(小学校4教科、中学校5教科)を導入します。						
【前年度の評価を踏まえた取組】						
・環境の整備と並行して、ICT 機器の活用について研修を進めました。						
【令和元年度事業の実績】						

- ・ICT 機器の導入と並行して、ICT 支援員を配置し、定期的に各校に派遣しました。ICT 機器の活用について助言したり、援助したりすることで、授業における ICT 機器の活用が大幅に増えました。
- ・校内研修として ICT 支援員による研修・講習会を実施し、効果的な ICT 機器の活用について学ぶことができました。

【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題

○ICT 支援員を年間300時間、各校10日程度派遣し、各校の実情に合わせて助言・サポートを実施し、各校の活用実践につなげることができました。

○小中学校とともに授業においてデジタル教科書を日常的に活用するようになりました。また、ICT 機器を用いて写真や資料を見やすく提示するなど、児童生徒の学習意欲を喚起したり、交流する際に ICT 機器を活用したりするなど、授業改善につながりました。

▲ICT 支援員の派遣に際して、より一層授業での活用に焦点をあてた活用を推し進めていく必要があります。

▲情報主任等が実践事例を交流するなど、ICT 機器の活用事例を広めていく取組が必要です。

▲国の推し進める「GIGA スクール構想」の下で、効果的に ICT 教育が実施できるよう、ICT に係る専門職員の雇用や ICT 支援員の増員について要望していく必要があります。

決算の状況	予算額	決算見込額	執行率
	72, 713, 000 円	71, 369, 709 円	98.2 %

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応		点検評価委員会評価	
		教育委員会評価	

様式第 1 号

瑞浪市教育委員会

整理No. 9		事業目標と評価			担当課		学校教育課		
教育プラン 基本目標		1	たくましく生きる基礎を育てる就 学前教育・学校教育の推進		施策	7	幼稚園・学校の職員 の資質向上		
主な取組		④	事業名		「働き方改革」推進事業			担当課 評価	B
【令和元年度事業の概要】 <u>重点目標等</u> 事業期間平成 30 年度～ 継続									
・教職員の時間外勤務を正確に把握します。									
・教職員が月80時間、年720時間を超える時間外勤務をしないようにします。									
・年2回(1学期末、2学期末)以上のストレスチェックを実施し、教職員のメンタルヘルス不調 の未然防止に努めます。									
【前年度の評価を踏まえた取組】									
・各校の校長、教頭とも連携して、管理職のリーダーシップの下、働き方改革を推進しました。									
【令和元年度事業の実績】									

- ・教職員の勤務時間把握用のPCに勤務時間を確実に入力するように働きかけた結果、正確な出退勤時刻を把握することができました。
- ・月 70時間を超える時間外勤務の教職員がほぼいなくなりました。
- ・学校閉庁日や早期退校日を設定することで、時間外勤務を減らすことができました。
- ・4～12月までのひと月あたり時間外勤務
H29年度…52時間33分 H30年度…47時間7分 R元年度…36時間20分

【令和元年度事業の成果と課題】 ○…成果 ▲…課題

○勤務時間を入力することによって、時間内に仕事をやりきる等の意識が高まり、教職員の意識改革につながっています。

○計画的に仕事を進めたり、仕事内容によって軽重をつけたりするなど、これまでの働き方からの転換が見られるようになりました。

▲学期末等、月によって時間外勤務が多い傾向は変わりません。また、校務分掌等の偏りにより、特定の教職員の時間外勤務が多くなる傾向も見られます。業務内容の一層の精選と、業務の共同実施等も実施しながら、時間外勤務の削減に取り組む必要があります。

決算の状況	予算額	決算見込額	執行率
	0 円	0 円	—— %

【点検評価委員からの意見と対応】 *…意見 →…対応		点検評価委員会評価	
		教育委員会評価	